

「文化多様性を促進するドイツ・ベルリンの文化政策とアートシーンに関する研修」

ドイツ・ベルリン海外研修プログラム

【テーマと目標】

文化多様性を保障・促進するドイツの文化政策とアートシーンについて分野横断的に研修を実施し、日本においても応用可能な地域主権時代の文化政策を構想することが、本プログラムのテーマである。また、先端的な文化政策の実践によって個性を発揮している都市間・地域間をネットワークし、まずはグローバルな課題をローカルな視点で共通認識したい。そしてグローバルな社会問題の解決を目指し、文化政策の立場から国境を超えて行動できる人材を育成することが、本プログラムの目標である。

協定先であるベルリン自由大学美術文化史学部の教職員とその施設使用の協力を得て、神戸大学生とベルリン自由大学生との合同ゼミや講義、国立博物館や州立歌劇場、ベルリン音楽祭や街中で展開されているアートプロジェクトなどのフィールドワークを実施する。また、ドレスデン音楽大学の協力を得て、ドイツ屈指の芸術都市ドレスデンへのエクスカーションも予定している。

【日程】

2016年9月中旬(コア研修期間9月12日～22日を予定)

渡航計画は以下の日程の前後に、各自の研究計画を加えて決定する。事前学習時にベルリン滞在前後の研修計画の可能性などについてもアドバイスを。

コア研修期間の11日間は全員がベルリンに滞在していること。

事前に講義と演習、帰国後には報告書の執筆を行なう。成果報告会も予定している。

【担当(企画・指導・引率)教員】

藤野一夫(国際文化学研究科) FUJINO@KOBE-U.AC.JP (研究室:E320)

【募集人数】

10名程度(国際文化学部、国際文化学研究科博士前期/後期課程所属の正規学生)

【経費関係】

基準を満たした場合には選考によりJASSO(8万円,1名)もしくは神戸大学基金(5万円)からの奨学金が支給される+自費負担。航空券、宿泊先(ホテル等)は各自で確保すること。

長期留学前に参加することも可能だが、参加者多数の場合は本プログラムのみ参加者を優先する場合がある。また、留学期間が重ならないこと、2016年前期に在学することなどが条件となる。

※履修登録は、参加者決定後に教務学生係が行います。

【研修先での使用言語】

ドイツ語もしくは英語

【準備と流れ--(1)については学生自身で行う】

(1)生活面

- 航空券の手配、宿の手配
- 留学生危機管理サービス(OSSMA)説明会参加、海外旅行保険加入
※OSSMA の会員登録は教務学生係が行います。

(2)学習面

- 事前講義への参加、課題、研究発表の準備
- 参加学生は、ベルリン自由大学との合同ゼミで学部生 10 分、院生 20 分程度のプレゼンを行なう。テーマについては事前講義時に相談して決定。プレゼンはドイツ語または英語、質疑は日本語を交えることもある。
- 帰国後に報告書を提出

【プログラム】〔予定、今後若干の変更がありえます〕

9月11日までに全員ベルリン到着

12日(月) ベルリン自由大学でのオリエンテーション(藤野)

フンボルトフォーラム(新博物館計画)についての講義(バルクマン先生)

13日(火) 博物館島MUSEUMSINSEL見学 夜は適宜、オペラ、演劇、コンサート

13日(水) 文化フォーラム(国立絵画館等)KULTURFORUM見学 夜は以下同様

14日(木) ダーレム国立博物館MUSEUM DAHLEM 見学 (ホフマン主任学芸員によるガイド)

15日(金)~20(月) フィールドワーク もしくはエクスカージョン

21日(火)~22(水) ベルリン自由大学での合同ワークショップ

以後、自由滞在

【今後の予定】

(募集) 平成 28 年 5 月 18 日~6 月 30 日

(選考) 7 月上旬 面接を予定

7 月初旬: 参加者決定

7 月下旬: 事前講義・演習

10 月中~ 事後発表会と報告書執筆